

2022年4月10日  
東京都ボート協会 長谷川遼子

「第66回日立明三大学レガッタ」  
実施報告書

1. 大会名 「第66回日立明三大学レガッタ」
2. 主催 立教大学（幹事校）、日本大学、明治大学
3. 日時 2022年4月10日（日）  
8:00 集合  
9:30 第一レース  
13:30 最終レース
4. 場所 戸田ボートコース（埼玉県戸田市）
5. レース 2,000m×13レース（20分間隔）
6. 審判 三大学関係者：16名 東ボ派遣者：8名 計：24名

審判長席	福士	長谷川	—	—	—	—
発艇	井上	櫻田	齋藤	木越	藤森	—
線審	関戸	正岡	笹	原	平木	—
M-1	山崎	浅野	—	—	—	—
M-2	佐藤	秋山	—	—	—	—
判定	油屋	魚躬	栗田	飯島	吹田	乙藤※
撮影班	吉野	—	—	—	—	—
総務	藤原	—	—	—	—	—

※途中離脱

7. 審判関連特記

(1) 全般

- ・2022年4月1日施行競漕規則に基づき実施
- ・舵手計量、艇計量は実施しない
- ・クールダウンは1,500~2,000mの1~4レーンのみ可
- ・次のレースに出漕するクルーのみ競艇ピットの利用可
- ・高校招待レース出漕クルーの航行ルール違反は指導に留める

(2) 発艇

- ・旗による発艇
- ・改修工事につき、発艇エリア付近のローカルスピーカーが利用できず、特設のスピーカーを使用（全国放送マイクとハウリング防止の為、音量・設置場所を調節）

### (3) 線審

- ・新設された警告灯の操作ランプが見えにくく注意が必要

### (4) その他

- ・YouTube によるライブ配信の為、撮影艇 1 艇、500～1,500m でドローンによる撮影を実施（その他地上カメラ 3 台、伴走車 1 台）
- ・撮影艇、ドローンとも主審艇の後方を走行し、ドローンは 1 レーンのみ自由飛行許可
- ・競艇ピットを離れるのが遅いクルーが散見された

## 7. レース関連特記

特になし

## 8. 所見

- ・大会運営において、撮影班との連携が課題と思料。撮影艇やドローン飛行のルールをはじめ、より良い映像を届けるという点とレースの安全性を担保するという観点で今後も議論が必要。着順が確定していない段階で放送を行うことについても、着順を言い切るのではなく、「～の様です。確定後タイムとともにお届けします。」など工夫が必要と感じた。
- ・高校招待クルーへ航行ルールの指導を行ったケースが多く、事前の航行ルール周知、徹底が必要。
- ・審判団は 16 名が三大学関係者と、以前に比べ東ボへの依存度は低減したものの、部署長を務められる審判員は限られており、引き続き技量の向上が課題。

以上

### 【集合写真】

